

施策評価シート

施策等名称	道路・河川維持対策	体系番号	0501010302
		主管課	建設課

1 施策基本情報

現状と課題	道路や橋梁などの道路施設は、産業・経済・文化の発展の基盤であり、生活や経済活動に与える影響が大きく、施設を保全し、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的とするが、茅野市の寒気が強い気候の特性もあり、1800kmにもなる市道の傷みは激しく修理は後追いとなっている。 堤防、護岸などの河川・砂防施設は自然災害等から人命や財産を守るための災害防止、流水の正常な機能の維持、施設の適切な利用、施設周辺環境の保全などを図っていくために本来の機能が常に発揮できるよう、適切な維持修繕が必要となる。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	修繕・保全をしなくてもよい施設が理想ではある。 道路施設、河川・砂防施設とも早期の補修・更新の対応を行う。 地区からの要望に対して、丁寧な対応を行う。 交通の安全を図る。 河川の流下能力を確保する。 適切な除雪・融雪剤の散布を行い、市民生活に影響が生じないように実施する。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	舗装等補修工事箇所数	箇所/年	415.00	400.00
②				
③				

施策の柱 1	名称	道路・河川維持修繕事業		主管課	建設課		
	詳細	安全で円滑な交通を確保するため、路面助教や排水施設等の状況把握に努め、必要に応じて補修や更新等を実施する。また、河川施設の機能が維持されるよう、予防保全の考えを取り入れた堆積土砂の除去等を計画的に進める。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	舗装等補修工事箇所数	箇所/年	415.00	400.00	1 道路パトロール	実施
	2					2 道路・排水施設の維持修繕	実施
	3					3 道路環境整備	実施

施策の体系	名称	市道除雪・融雪剤散布事業		主管課	建設課		
	詳細	冬期間の降雪、積雪による幅員の狭小や見通しの悪化、吹き溜まりの発生等に対し、市民生活へ影響が生じないように、除排雪・融雪剤の散布を実施し、安全で円滑な交通の確保に努める。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	除雪延長	km	216.00	216.00	1 市道除雪	実施
	2	融雪剤散布延長	km	90.00	90.00	2 融雪剤の散布	実施
	3					3	

施策の柱 3	名称			主管課		
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3	

基本政策間連携

施策等名称	道路・河川維持対策	体系番号	0501010302
		主管課	建設課

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	舗装等補修工事箇所数	415.00	385.00	354.00	310.00	371.00	
		400.00	96.25	88.50	77.50	92.75	0.00
変動要因等	2018年度	工事箇所は減ったが、予算が足りなく流用した					
	2019年度	工事箇所を集約している					
	2020年度	発注を集約していることから工事箇所数としては減少している					
	2021年度	同じ地区の工事集約を図るが、要望書と市民からの通報との時期が合わないなど、緊急性のある突発的な要素が原因と考える。					
	2022年度						
柱1	舗装等補修工事箇所数	415.00	385.00	354.00	310.00		
1		400.00	96.25	88.50	77.50	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	工事箇所は減ったが、予算が足りなく流用した					
	2019年度	工事箇所を集約している					
	2020年度	発注を集約していることから工事箇所数としては減少している					
	2021年度						
	2022年度						
柱2	除雪延長	216.00	216.00	216.00	216.00		
1		216.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	延長増減なし					
	2019年度	延長増減なし					
	2020年度	延長増減なし					
	2021年度						
	2022年度						
柱2	融雪剤散布延長	90.00	90.00	90.00	90.00		
2		90.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	延長増減なし					
	2019年度	延長増減なし					
	2020年度	延長増減なし					
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	道路・河川維持対策	体系番号	0501010302
		主管課	建設課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	261,954,277	239,974,188	235,005,597	233,716,000	243,941,000
	うち一財(円)	261,117,457	236,479,308	234,259,467	233,266,000	243,191,000
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以 上の場合 に記載)					
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調	おおむね順調	おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	地区要望箇所は概ね対応した。(90.7%)	地区要望箇所は概ね対応した。(90.7%)	地区要望箇所は概ね対応した。(90.3%)	地区要望箇所は概ね対応した。(90.1%)	
	課題	地区要望のほか、市内の施設は老朽化し、修理は追いつかないのが現状である。	地区要望のほか、市内の施設は老朽化し、修理は追いつかないのが現状である。	市内の施設の老朽化が進行し、その規模も大きくなってきており、一箇所にかかる修繕費が増大傾向にある。	市内の施設の老朽化が進行し、その規模も大きくなってきており、一箇所にかかる修繕費が増大傾向にある。	
改革・改善	改革・改善内容	最少予算で最大効果が出るような工夫。新工法の導入など	最少予算で最大効果が出るような工夫。新工法の導入など	最少予算で最大効果が出るような工夫。新工法の導入など	最少予算で最大効果が出るような工夫。新工法の導入など	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1	1	1	1
		重点事務事業	1	1	1	1
	理由	市民要望に応えるため。老朽化した施設を維持するため	市民要望に応えるため。老朽化した施設を維持するため	市民要望に応えるため。老朽化した施設を維持するため	市民要望に応えるため。老朽化した施設を維持するため	

作成担当者	松沢勝	松沢勝	荒井憲一	宮下淳一
最終評価責任者	篠原尚一	篠原尚一	篠原尚一	岩崎研二
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月14日	2021年6月2日	2022年5月30日